

- 問い合わせ 1 地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 企画情報連携部 連携広報課
電話 046-236-1500(代表) 住所 海老名市下今泉 705-1 神奈川県立産業技術総合研究所
- 問い合わせ 2 地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 研究開発部 橋渡し研究課
電話 046-236-1500(代表) 住所 海老名市下今泉 705-1 神奈川県立産業技術総合研究所
- 問い合わせ 3 産業労働局産業振興課 技術開発グループ
電話 045-210-5646 / 045-210-5640 住所 横浜市中区日本大通 1 本庁舎 2階
- 問い合わせ 4 地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 事業化支援部 企画支援課
電話 046-236-1500(代表) 住所 海老名市下今泉 705-1 神奈川県立産業技術総合研究所
- 問い合わせ 5 産業労働局産業振興課 海老名駐在事務所 (さがみロボット産業特区推進センター)
電話 046-236-1577 / 046-236-1578 住所 海老名市下今泉 705-1 神奈川県立産業技術総合研究所
- 問い合わせ 6 産業労働局産業振興課 さがみロボット産業特区グループ
電話 045-210-5650 / 045-210-5652 住所 横浜市中区日本大通 1 本庁舎 2階

問い合わせ(総合) 産業労働局産業振興課 海老名駐在事務所 (さがみロボット産業特区推進センター)
電話 046-236-1577 / 046-236-1578 住所 海老名市下今泉 705-1 神奈川県立産業技術総合研究所



実際に特区支援策を利用した方の声

弊社は中小企業ですが県のサポートを活用し、製品の知名度も上がり、商品の紹介(宣伝)、購入費用の一部負担の援助も受け、企業としての信用度も上がりました。

災害現場を模した実証サイトは希少であり、通常、利用に事前の許可や申請が必要で、その利用はハードルの高いものである。しかしながら、さがみロボット産業特区ではほぼ開発上必要なタイミングでサイトが利用でき、災害対応ロボットの開発に有用なシステムとなっている。

実証検証など実験場所の確保は、恒常的に使うオフィスと違い開発を進めていく中で大きな問題点でしたが、特区支援に加わることで広々とした生活雑貨の無い理想空間での実験ができ大変感謝しています。

レーダーを活用した見守りは、機械に監視されるシステムと見なされ悪いイメージを与える恐れもある中で、鉄腕アトムイメージを取り込んで頂いたことで、非常に高度な技術であり、機械やセンサーと人間が共生する明るい社会イメージで期待される点も感謝しています。

また、行政からのアドバイスも頂けるので倫理審査や安全基準など、後回しになる作業工程が明確に開発工程に組み込まれ評価や計測の実施など安心して開発を進めることが出来ました。

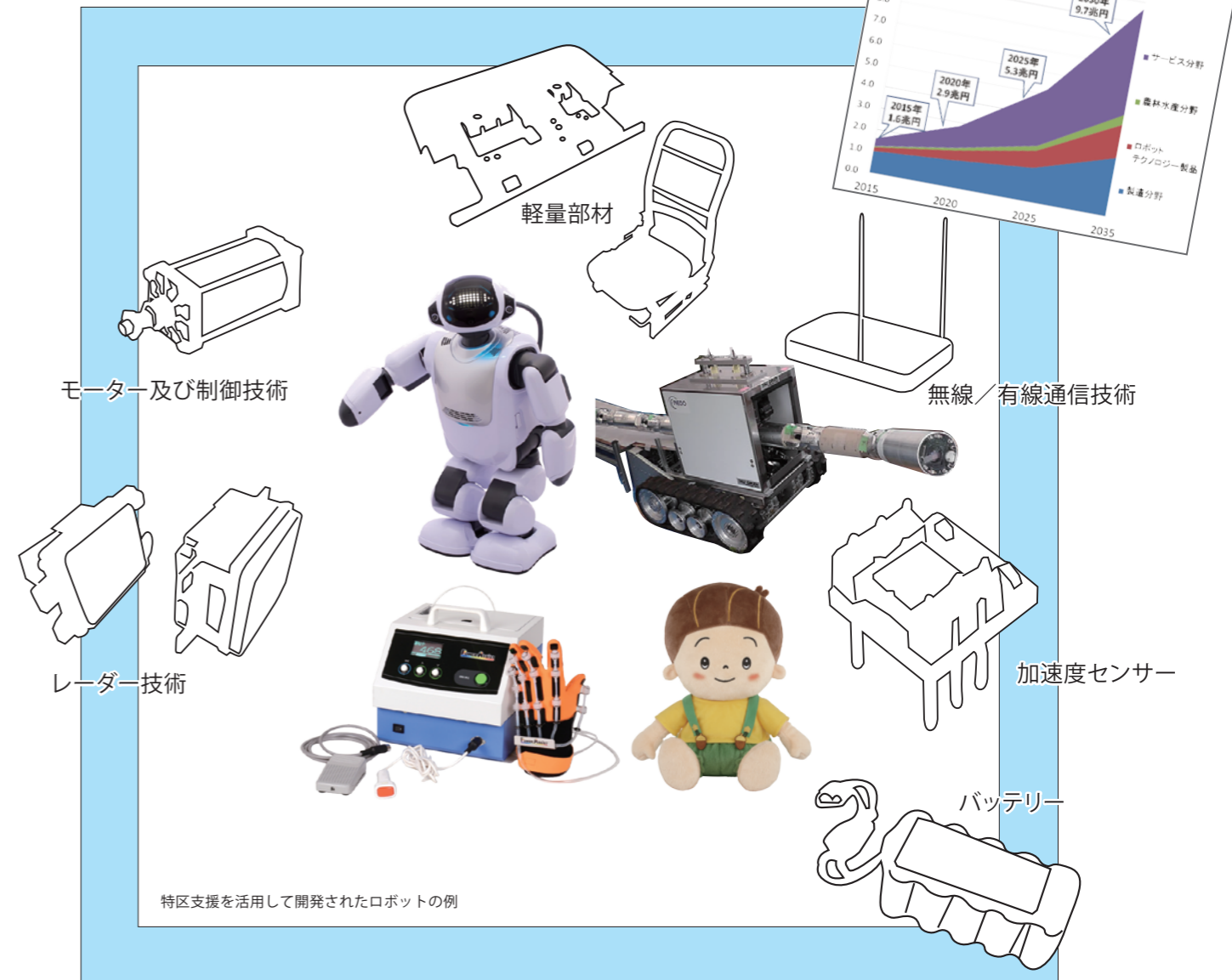
自分の会社の部品でも
特区の支援を受けられるの？

その技術を、 さがみロボット産業特区へ！

サービスロボット分野は、今後ますます市場が拡大します

ロボット要素技術例

※出展 | (経産省・NEDO)ロボット産業市場予測



他にも… 生体センサー技術、音声合成・簡易着脱機構、信号処理・HEMS技術、安全装置技術、画像認識、除菌/脱臭・防水/耐水、ゲーム技術の利活用など

こんな技術をもっていませんか？

様々な技術や部品がロボットには使われています！